



学校だより

平成18年 9月 29日(金)
東京都目黒区東山1-24-31
目黒区立東山中学校

豊かな「かかわり」実る秋

校長 牛島正廣

目黒の街を歩くと、どこからともなく「キンモクセイ」の甘いかおりが漂ってきて、**秋の訪れ**を感じます。

2学期がスタートして、早1ヶ月が経とうとしておりますが、子ども達の学校生活の様子を見てみると、**大きな実りの秋**になる予感がします。

今の子ども達に足りないことの1つは、人や自然と直接**「かかわる体験」**が少ないことです。このことが満たされれば、多くの子ども達の問題は解決できると思っています。

2学期は、子ども達が**「かかわる時や場」**がたくさんあります。しかし機会さえ与えれば良いというわけではなく、その場で教師や友達と一緒にいる喜びや心地良さを体感できる内容を準備することが大切になります。

この部分に指導者側の力量が問われます。本校の先生達は、そのことをよく分かり、子ども達に**「人と一緒にいることに快さを感じさせる」**活動を多様に仕組んでくれています。

例えば、夏休みの**2年生の林間学校**は、学級・学年のまとまりやバイタリティ等を見せてもらい、帯同した私は、感動と嬉しさをもたらした2泊3日でした。そこには教師の手によって、子ども達に友達や先生と一緒にいる楽しさや心地良さを味わわせる場面がたくさん網羅されていました。

江戸川区の文化センターで行われた**吹奏楽部の都コンクール「A組銀賞受賞」**の内容は、会場の人たちに大きな感動を与えてくれました。これは子ども達が必然的な**「かかわり」**を通して、共に音楽を創り上げる喜びや、伸びやかに表現する力を発揮した成果だと思えます。

演奏を終えた子ども達の顔は、**「やり遂げた満足感と多くの人とかかわった喜び」**にあふれていました。そこにも、指導の先生の力量の高さを感じました。

区連体の応援団や競技練習にも、本校の先生達みんなが種目別の練習の場に手分けして付いていただき、子ども達は友達や先生と必然的に**「かかわり」**、主体的に活動しています。大会後の結果も楽しみですが、それ以上に本校の先生達が丸となって、子ども達とかかわっていただく姿を見て嬉しく思います。

生徒会役員の「立会演説会」も候補者と一般生徒との**「心のかかわり」**がありました。

特に会場の体育館で、3年生全員が1・2年生の演説を**「心で聴き 温かく見守る姿」**は、目に見えない生徒同士の**「豊かなかかわり」**の積み上げを感じました。これが**「山中」**の伝統なのでしょう。

学校公開週間に訪れていただいた本校と区内の5・6年生の保護者の皆様からは、生徒達の授業態度や、来客者へのあいさつ等、たくさんお褒めの言葉をいただきました。

このことも、人との**「かかわり」**を大切にしている本校の教育活動の成果であると思えます。

開校50周年を前に**15人の講師の方々**にご来校いただき、各教室で様々な話をさせていただきました。講師の皆様からも、真剣に話を聞いてくれたことが嬉しかった等、異口同音に子ども達にお褒めの言葉をいただきました。

中学生になると子ども達は、地域の方々と**「かかわる」**機会が少なくなります。こうした試みが**「大人とかかわるきっかけ」**になり、子ども達が自分の住む**地域**にも目を向けてくれれば嬉しいと思います。

「かかわり」に重きをおいた教育活動は、**「心の安定感 一緒にいる安心感 人への信頼感そして感受性の豊かさ」**を育てます。

本校では2学期も、保護者・地域の皆様方等のご理解とご協力をいただきながら、子ども達の活動が**より豊かな「かかわり」**を産むよう努力して参ります。ご支援ください。

「生き方教育」ゲストティーチャーのお話

9月9日(土)、学校公開日の4時間目、15人の地域の方にゲストティーチャーをお願いして、各クラスで「生き方」についてのお話をさせていただきました。様々な話を生徒たちは真剣に聞いていました。生徒たちの感想については、それぞれの学年の学年だよりで紹介しています。次年度もこのような企画を実施していきたいと考えています。

お名前	肩書	授業内容	授業学年組
		私の頑張っていること	1年A組
		私の選んだ職業	1年B組
		看護師として伝えたいこと	1年C組
		東山中学校と私の50年(野球部の話も)	1年D組
		私の生き方	1年E組
		私の選んだ職業	2年A組
		私の選んだ職業:音楽療法士	2年B組
		「読む」「書く」そして「話す」「聞く」「見る」	2年C組
		里山に生きた中学生	2年D組
		私の人生で経験したことから	2年E組
		人としての生き方	3年A組
		地域における生き方	3年B組
		心に残るちょっといい話	3年C組
		東山中の今昔	3年D組
		私の中学時代	3年E組

【10月行事予定】

日	曜	行 事	給	16	月	朝礼 完全衣替え 職員会議	
1	日	都民の日		17	火	避難訓練 3年学力テスト	
2	月	朝礼 区連体壮行会		18	水	文化祭準備期間(45×4授業)	↑
3	火	目黒区立中学校連合体育大会(駒沢)	×	19	木		↓
4	水	区連体予備日 後期第1回専門委員会 紙バック回収		20	金		
5	木			21	土		
6	金	区連体表彰式		22	日		
7	土			23	月	3 A C 東山幼稚園交流	↑
8	日			24	火	3 B D からすみ幼稚園交流	
9	月	体育の日		25	水		
10	火	質問教室		26	木	(午後)文化祭りハーサル	↓
11	水	教育会A研 PTA運営委員会		27	金	文化祭りハーサル	
12	木	中間考査(社・英・1年家2年技3年音)	×	28	土	文化祭 第1日目	×
13	金	中間考査(数・国・理)英検		29	日	文化祭 第2日目	×
14	土	第10回パソコン教室		30	月	文化祭振替休業日	
15	日			31	火	文化祭振替休業日	

【目黒区連合体育大会のお知らせ】

大会開催の可否は、目黒区ホームページのトップページに6:10頃掲載。または、TBSラジオで当日の午前6時29分台に放送があります。・区連合体育大会をご覧になる方は、入場券をお持ち下さい。後日配付します。

生徒用トイレの一部が洋式になりました。それに伴い、便座クリーナーも設置しました。帰国室のカーペット部分が改修されきれいになりました。

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

副校長 齋藤 淳

平成15年度から東京都教育委員会では、毎年、都内公立中学2年生に対し、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を行っています。方法は、質問紙調査票による「学習に関する意識調査」と調査票（ペーパーテスト形式）による国語・数学・英語・社会・理科（実施順）の学力定着状況調査で行っています。この調査は学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況を把握することにより、各学校における指導方法の改善・充実に生かすとともに、児童・生徒の確かな学力の定着を図ることが目的です。

今回は現3年生が2年生の時の平成18年1月17日に実施した時の結果の概要をお知らせします。

1 調査結果の概要

(1) 各教科の平均正答率

	国語	数学	英語	社会	理科
東京都	76.9%	71.8%	72.3%	74.3%	79.5%
本校	83.2%	81.0%	85.4%	82.3%	82.5%

(2) 学力調査全体の分析と考察

英語・数学については、東京都の平均より10ポイント前後上回り、昨年同様、結果は良好であった。この状態を維持し、さらなる向上を目指すように授業の改善に努めていきます。

国語・社会・理科についても、東京都の平均より上回っているが、まだ伸ばす余地もあります。この3教科で、英語や数学同様に生徒の学習意欲を向上させる授業の改善が必要であり、基礎基本のさらなる定着が必要であります。

(3) 各教科の分析

国語～基礎的・基本的な内容の定着は感じられるが、さらに徹底していく必要がある。

また、文章を正確に読み取る力のさらなる向上を目指すことが大切である。

数学～身近であるはずの数量関係の正答率は、東京都の平均より高いが、他の内容より低く、課題が残る結果となった。

英語～英語学習に対して意欲的に取り組む生徒が多い。意欲が授業・家庭学習でもよく表れている。意欲を維持しながら、更に学力の向上を図ることが必要である。

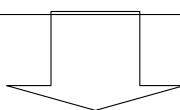
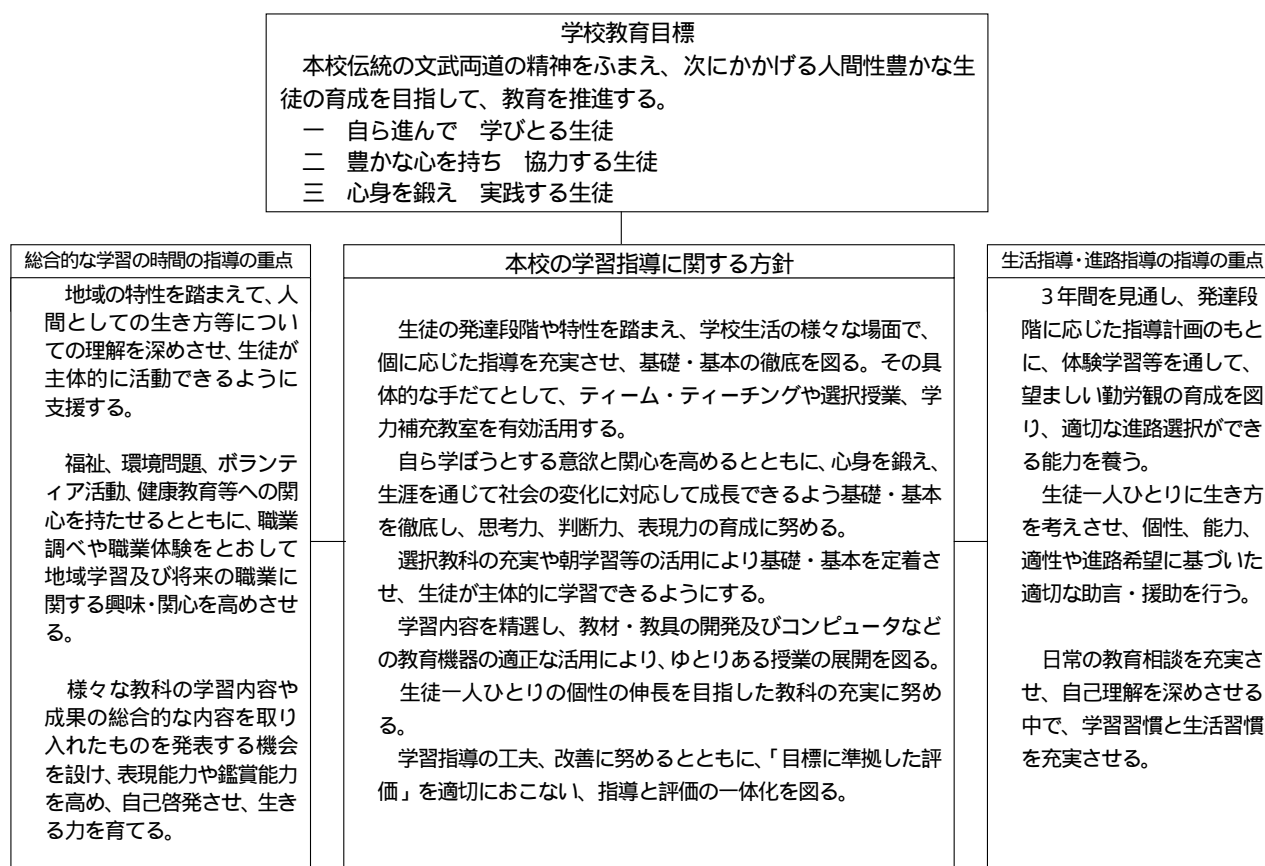
社会～東京都全体の平均より、総合的には正答率は大きく上回っている。日頃の授業を通しての取り組みの結果であるが、これに満足せず、基礎基本の充実に向けてさらに授業内容の工夫をしていく。

理科～教科全体の平均正答率は上記の通りで、結果は良好である。第1分野は、都の平均を上回っており、第2分野はおおむね都の平均値に近い結果となっている。

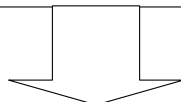
内容ごとの正答率としては、第1分野、第2分野共に80%をこえており、両分野共に基礎的・基本的な内容の定着が図られている。しかし、正答率が80%に満たない問題が全体で26問中7問、50%に満たない問題が1問（1分野）あり、今後の指導の改善を図っていく必要がある。

なお、各教科の詳細については、近日中に学校ホームページに掲載いたします。

2 授業改善プラン



本校の授業改善に向けた視点				
指導方法等の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>学習の内容により多様な学習形態を工夫し、基礎学力の定着を図るわかる授業を実践する。</p> <p>チーム・ティーチング、コンピュータの活用等、学ぶ喜びが実感できる授業を実践する。</p>	<p>指導重点教科の設定を行い、基礎学力の向上を図り、学力補充教室等で基礎学力のより確かなものにする。</p> <p>体験学習を積極的に取り入れ、課題を追求する場面を設定し、自ら学びとる態度を育成する。</p>	<p>実践に基づく授業研究を通して、授業実践の共通理解を図る。</p> <p>学級経営・教育相談等の教育課題の研究を通して、生徒理解を深めるとともに、一人ひとりを大切にする指導の充実を図る。</p>	<p>各単元で身につける資質や能力を明確にし、内容のまとまりごとの評価計画や評価規準の見直し、改善を図る。</p> <p>補助簿等の活用を図り、単元別に観点別の評価を行い、学習評価の精度を高める。</p>	<p>授業参観、学校評価での意見、要望を十分に吟味し、学習指導に反映させる。</p> <p>ゲストティーチャー等の教員以外の指導者を有効に活用し、生徒の意欲・関心を高める。</p>



基礎・基本の定着に向けた各教科の方策				
国語	数学	英語	社会	理科
<p>チーム・ティーチングを活用して、個に応じた指導を図る。</p> <p>落ち着いた学習環境を維持させ、読解力の向上を図る。</p>	<p>基本的な問題の反復練習を実施する。</p> <p>学習指導員と連携を取り、個に応じた指導を図る。</p>	<p>A L Tとの授業を活用し、自分の英語が通じることで楽しみ・喜びを実感させることで意欲を高める。</p> <p>毎時間英作文を取り入れ、表現力を高める。</p>	<p>生徒自身が進んで学びたいような授業を通して、多くの資料に自主的にふれさせる。</p> <p>プリントや小テストを活用した指導を通して基本的知識の定着を図る。</p>	<p>観察や実験など直接的な体験を通して知識を身に付けさせる指導を行う。</p> <p>コンピュータや映像を活用し、学習の定着を図る。</p>